

トランププリスクと アメリカ情勢

参加
無料

2017.12.18(月)

13:30～15:30(受付開始13:00)

会場／福井県立大学 多目的ホール3階

主催／福井県立大学地域経済研究所

トランプ大統領はアメリカ・ファーストで同盟国の信用をなくし、北朝鮮やイランとの対立でアメリカを危険に晒し、議会との対立で税制改革など実現の目処も立たない。ロシアゲート捜査次第では大統領弾劾のリスクも抱える。その一方で、米経済は好調を続け、米連邦準備理事会(FRB)は利上げに続き、バランスシートの縮小という金融政策の正常化に動き始めた。強い経済と政治の混迷が両立するアメリカの今後を展望する。

〔講師紹介〕

中島 精也

丹羽連絡事務所
チーフエコノミスト



1972年横浜国立大学経済学部卒業後、伊藤忠商事に入社。調査部エコノミスト、為替証券部為替エコノミスト、秘書部丹羽会長付として経済財政諮問会議を担当。伊藤忠商事チーフエコノミストを経て2015年より現職。これまで日本経済研究センター出向(1976～1978年)、ドイツifo経済研究所客員研究員(1994年～1996年ミュンヘン駐在)、内閣情報調査室国際金融研究会メンバー(1997～2015年)、鳩山総理のエコノミスト懇談会メンバー(2010年)、九州大学大学院非常勤講師、長崎大学非常勤講師、関東学院大学非常勤講師を歴任。著書に「傍若無人なアメリカ経済」(角川新書)、「グローバルエコノミーの潮流」(シグマベイスキャピタル)、「アジア通貨危機の経済学」(編著、東洋経済新報社)。日本経済新聞(夕刊)コラム「十字路」を21年間執筆。現在、PHP研究所グローバルリスク研究会など幾つかの研究プロジェクトに参加する傍ら、日経産業新聞「眼光紙背」、外国為替貿易研究会「国際金融」に定期寄稿、ドイツifo経済研究所「ワールド・エコノミック・サーベイ」の日本経済を担当。

フォーラム参加申込書

福井県立大学 地域経済研究所 大山宛

FAX 0776-61-6017 E-mail keiken@fpu.ac.jp

貴社・貴団体名		TEL
		FAX
所在地 〒		
お名前	所属・役職	
	E-mail	
お名前	所属・役職	
	E-mail	



【お問合せ先】福井県立大学地域経済研究所 大山 TEL (0776) 61-6000 (代)